

平成24年度第3回加茂地域審議会

日 時 平成25年1月31日(木) 午前10時00分～11時40分

場 所 津山市 加茂支所201会議室

出席委員

大塚邦久会長、菅田貞男副会長、上高光昭、岡田一江、岡田勉、尾島玲子、志水比佐代、
智和正、町田英夫、松本美幸、美土路有蔵

欠席委員

藤本光一

事務局

大下副市長、原田加茂支所長、安達市民生活課長、植月地域振興部長、
皆木協働推進室長、上高水道施設課長、峪川水道局業務課長、高務保健給食課長、
絹田教育総務課長、今村産業政策課長、松田産業政策課主幹、
甲田主査、綱山主事

傍聴人 なし

会議次第

- 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 副市長あいさつ
 - 4 議事
 - (1) 簡易水道の上水道への事業統合について
 - (2) 津山市学校給食施設等整備計画について
 - (3) 阿波小学校の加茂小学校への統合について
 - (4) 福祉バスの有料化について
 - (5) 風力発電事業について
 - (6) 地域振興基金の活用について
 - (7) その他
 - 5 閉会
-

議事録の概要

1 開会

事務局 本日は委員が1名欠席されておりますが、過半数の出席がありますので、ただいまより平成24年度第3回加茂地域審議会を開催させていただきます。開会にあたり会長よりごあいさつをお願いします。

2 会長あいさつ

会長 本日は平成24年度の第3回の地域審議会です。委員の皆さん、また副市長さんをはじめ職員の皆さん方にも多数のご出席をいただきありがとうございます。本日の協議についてですが、11時半を目安に進めさせていただきたいと思っております。よろしくをお願いします。

3 副市長あいさつ

副市長 本日は大変お忙しい中、今年度最後の加茂地域審議会にご出席いただき大変ありがとうございます。また委員皆様方には平素から私ども津山市の行政運営に格別のご尽力いただき大変ありがとうございます。平成17年の2月に合併をいたしまして、早いもので8年が経過しようとしております。合併前に作りました、新市の建設計画、あるいは第4次総合計画に基づきまして、新市の均衡あるまちづくりを進めてきましたが、非常に厳しい財政環境の中で、住民ニーズに対応した行政サービスを今後いかに維持していくか、あるいは、平成22年の国勢調査において、5年間の人口推移を見ていくと、約3,800人の人口が減っている。このことは私どもにとって非常に深刻な問題であると認識しております。特に中山間地域におきましては過疎化、あるいは高齢化が着実に進んでいます。こうした現状の中で、地域全体の存続に向けた取り組み、対策が我々の喫緊の課題であると認識しています。そのためには、地域に暮らす方々が自らの力で地域づくりをしていく、新しい協働の取り組みがますます必要となっていくと考えています。今後とも加茂地域の将来について、しっかりご論議をいただきまして、安全で安心のまちづくり、また住みよいまちづくりを皆さんとともに協働で進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご理解ご協力をお願いします。

4 議事

(1) 簡易水道の上水道への事業統合について

事務局 第4次総合計画の後期実施計画事業として、平成25年度から平成27年度まで、上水道に統合するための事業を行い、平成28年4月1日を目標に統合する。

すでに、平成24年4月1日に下津川地域の簡易水道を上水道に統合しており、引き続き、加茂、加茂郷の簡易水道についても順次統合していく。

事業概要は、加茂の落合水源への紫外線照射設備の設置、ポンプ・電気設備の設置、送・配水施設の一部改良で、平成25年度に紫外線照射機の設計委託を行い、26年度から27年度にかけて工事を行う予定です。

委員 水源や水圧は変わらないのか。

事務局 水源は変わらず、水圧等も変わる予定はありません。

委員 下水道ができて、水道代の割高感があるが、今後の料金体系はどうなる。

事務局 下水道料金は簡易水道地域も上水道地域も同じで、加茂・阿波地域の簡易水道については上水道より若干安い水道料金となっています。会計的な話をさせていただくと、一般会計から、企業会計に会計が移る形になります。企業会計というのは独立独歩の事業採算でやるものですので、上水道に統合した後の水道料金については検討せざるを得ない課題ですので、今後検討させていただきたいと考えている。

委員 改定するとしても、28年度からということですよ。

事務局 料金の改定は、統合後の話です。

(2) 津山市学校給食施設等整備計画について

事務局 平成20年9月に市内の小中学校全てで完全給食を実施するため6,000食規模の戸島学校食育センターを稼動した。

現在は戸島のセンター、加茂・勝北・久米の各センター、旧市内12の小学校在単独校での5つのパターンで給食を実施している。

平成23年11月に津山市学校給食施設等整備計画(案)を公表し、パブリックコメント、説明会を経て、平成24年5月28日に整備計画を策定し公表している。

計画の内容は、学校給食の現状と課題、学校給食施設等整備の基本方針、具体的な施設整備についてで、具体的な施設整備の中で、新たに設置する共同調理場施設の規模、建設場所、整備スケジュール等について説明している。平成25年度から着手し、26年度2学期から稼動させ、戸島のセンターと新しいセンターの2つで市内の給食事業を展開する。

(3) 阿波小学校の加茂小学校への統合について

事務局 近年、急激に子どもたちが少なくなっている阿波小学校について、平成22年6月に策定した「津山市立学校の適正な規模や配置等に関する基本方針」をもとに、平成22年の9月頃からPTAと一緒に、極端に人数が少ない場合のメリットとデメリットについて考えた結果、加茂小学校に統合する考え方を理解いただいた。

最終的には阿波地域住民や阿波地域審議会、加茂小学校のPTA役員さんにも説明させていただき、加茂小学校のPTAの方に通知文で協力を依頼している。

会長 似たようなところが他にもあるのでは。

事務局 一部の地域では心配するところもあったが、50人くらいを将来的にも維持している。急激に減ることは想定していない。

委員 子ども達や保護者がスムーズに合併を迎えるように交流をもったり、意見交換をする機会がもたれるのか。

事務局 授業の中で年に何回か交流することを考えている。

委員 同じ地域になるので、加茂の子も阿波のことがわかる機会があればいいと思う。

事務局 実際には授業のカリキュラムの中で取り組むので、現在検討している。

会長 中学校では、生徒が増えすぎているところがあるのでは。

事務局 市内にもいろんな課題があり、全体的に見直す時期ではないかという意見は出ている。地域別の将来推移など、資料を集めていかないといけないと思っている。

(4) 福祉バスの有料化について

事務局 加茂地域の福祉巡回バスは、社会福祉協議会の実施事業として、加茂地域内の4コースを、月曜日を除いて順番に運行している。この福祉巡回バスは旧津山市を除く旧町村で走っているが、平成22年3月策定の『津山市地域公共交通総合連携計画』において、今後も維持・継続できる地域の足を目指し、また受益者負担の適正化を図るために、有料化する整理方針が出ている。

阿波地域は昨年、過疎地有償運送に移行し有償化され、加茂地域は、勝北・久米地域と一緒に平成25年4月1日からの有償化で最終準備の段階に入っている。

引き続き社会福祉協議会の事業として実施し、運行時刻、運行コースは基本的に現在と変わらないが、1乗車100円をいただく形となる。

この有償化については、事業主体となる社会福祉協議会と協力して、車内への掲示、広報等で皆さんへ周知を図っていく。

(5) 風力発電事業について

事務局 事業の概要について、事業者はCEF津山ウインドファーム(株)で事業費は約150億円。設置施設は当初、風車32基の予定だったが、天然ブナ林・細池湿原、天然記念物の生育・生息環境の維持を考慮するなど環境負荷の低減を図るため、

19基へ変更。発電能力は、津山市の全世帯分の年間の消費電力程度の51.3MW。売電先については、当初、関西電力だったが中国電力へ変更。風車の輸送ルートは鳥取県の泊港から国道を通過して市道西原線を陸送する予定。今年4月から地元説明会を行い、9月に着工予定。本稼動は平成27年夏以降の予定である。

会長 風力発電事業ができれば、市に収入があるのか。

事務局 具体的な数字は把握していないが、観光客の増加等による地元経済への効果も見込んでいる。

委員 キャンプ場から五輪原へ行く県道が非常に狭いので、検討して欲しいということだったがその後はどうなっているのか。

事務局 拡幅の具体的な計画はできていないが、今後も拡幅に向けて粘り強く要望していく。

委員 地元説明の予定があるみたいだが、地元説明とはどこまでの範囲か。

事務局 倉見・黒木町内会と、加茂・阿波地区で1回実施する予定。

委員 キャンプ場等の利用者等が倉見川で泳いだりしているが、工事で川が濁るようなことがあれば川に入れなくなるし、漁業組合も困る。どういう対応をとってもらえるのか。

事務局 濁り水が流れないような措置を取ってもらえると考えている。

(6) 地域振興基金の活用について

事務局 平成25年度においてウッディハウス加茂、黒木キャンプ場、黒木ダム周辺施設の整備・修繕のための財源として地域振興基金を活用したい。

また、黒木キャンプ場については、現在通年オープンとなっているが、再来年度から4月から10月までのオープンに変更予定である。

(7) その他

事務局

・消火栓ボックス等の更新補助の結果について

消火栓ボックス等の更新補助について、昨年5月1日から7月31日までの3

ヵ月間募集し、ホース格納箱が77個、ホースが142本、筒先が39本の申請が19町内会からあり、補助を行った。

・津山市農政審議会委員への就任について

当審議会からの推薦で、岡田勉委員が就任していたが、任期満了のため、平成24年10月1日から尾島玲子委員が就任した。任期は平成26年9月30日までの2年間となる。

・所得税、市県民税の申告会場の変更について

例年支所の2階で行っていたが、今年から公民館に変更した。

会長 葬祭用具貸出管理事業の継続実施要望書提出について提案

旧加茂町社会福祉協議会が昭和43年度より加茂地域住民の葬儀にかかる費用の軽減措置と住民への福祉サービス等を目的として実施している事業で、事業開始時点ではほぼ100%の人が利用していたが、近年は使用件数が著しく減少している。

社会福祉協議会では今後の実施内容について検討が必要と提案しているが、町内会長から地域コミュニティの再生、経費の負担軽減になるので、事業を継続して欲しいと強い要望があり、加茂地域審議会から社会福祉協議会に要望書を提出したい。

委員 町内会として非常にありがたい。

5 閉会

副会長 これで本会を閉会いたします。